

イーストスプリング・ アジア・インカム・プラス 【愛称:アジアンドリーム】

追加型投信／海外／資産複合

第119期(償還日 2017年3月15日)

作成対象期間(2017年2月16日～2017年3月15日)

償還日(2017年3月15日)	
償還価額	8,460円94銭
純資産総額	211百万円
第119期 (2017年2月16日～2017年3月15日)	
騰落率	△0.4%
分配金合計	－円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・アジア・インカム・プラス」は、信託期間を満了し、2017年3月15日をもって償還いたしました。

当ファンドは、主として日本を除くアジアの債券および株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行ってまいりました。ここに、運用状況と償還内容をご報告申し上げますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「ファンド情報」のタブを選択⇒「ファンド一覧」ページの中の「償還ファンド一覧」を選択⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

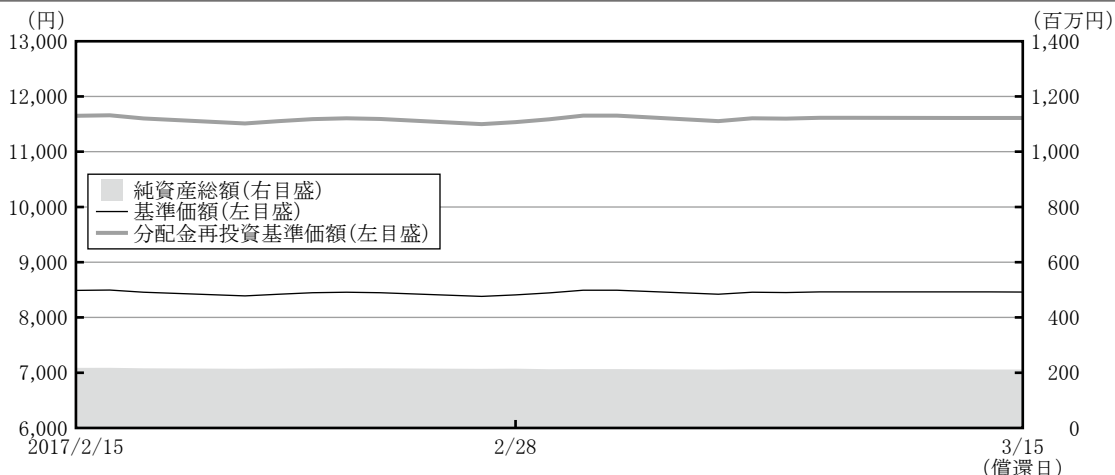
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

基準価額等の推移について(第119期:2017年2月16日から2017年3月15日まで)



第119期首	8,491円
第119期末(償還日)	8,460円94銭(既払分配金-円)
騰落率	△0.4%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額はほぼ横ばいで推移したものの、当作成期首から小幅に下落しました。アジア株式市場は概ね堅調に推移した一方で、米国債利回りの上昇(価格は下落)を受けて、アジア債券市場でも利回りが概ね上昇傾向となったことがマイナス要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第119期 2017/2/16 ～2017/3/15		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	9円	0.102%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、8,407円です。
(投信会社)	(3)	(0.041)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(5)	(0.058)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(0)	(0.002)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.008	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(印刷)	(1)	(0.008)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	10	0.110	

(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日	2012/2/15	2013/2/15	2014/2/17	2015/2/16	2016/2/15	2017/2/15	2017/3/15 償還日
基準価額 (円)	7,158	8,452	7,976	9,679	7,911	8,491	8,460.94
期間分配金合計(税込み) (円)	—	180	180	180	180	180	—
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	21.0	△3.6	23.8	△16.6	9.7	△0.4
純資産総額 (百万円)	863	710	426	312	217	217	211

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

○海外債券市況

2017年3月中旬の米連邦公開市場委員会(FOMC)での利上げ観測の高まりを背景とした米国債利回りの上昇(価格は下落)を受けて、アジア債券市場では2月末から利回りが概ね上昇傾向となりました。国別では、インフレ懸念の高まりや短期金融市場での需給のひっ迫化から短期金利の上昇が見られたフィリピンの国債利回りが大幅に上昇しました。一方で、海外投資家の資金流入が見られたインドネシア、インドの国債利回りは低下(価格は上昇)傾向となりました。

○海外株式市況

アジア株式市場は2017年2月下旬にかけて、米国新政権への期待から米国株が堅調に推移したことを背景に良好なセンチメントが継続しました。3月に入ると、FOMCなどを控えて様子見姿勢が強まり、株式市場はほぼ横ばいとなりました。

○為替市況

アジア通貨は2017年3月中旬のFOMCを前にした利上げ観測の高まりから対米ドルで弱含みましたが、対円ではインドルピー、シンガポールドル、マレーシアリングットなどが上昇しました。特にインドルピーは株式、債券市場への海外投資家の活発な資金流入を背景に堅調となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは基本配分に従い、「イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)」を通じてアジア債券に7割程度、「イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド クラスJ」(以下「アジアン・エクイティ」と言うことがあります。)を通じてアジア株式に3割程度の投資を行いました。なお、当作成期は当ファンドの償還に向けて、組入ファンドを全売却しました。

○イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)

イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジアの政府、政府機関および国際機関の発行する現地通貨建債券に投資を行い、安定的な利子収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行いました。当作成期は、海外投資家の活発な資金流入が見られたインドやインドネシアの債券の保有などがプラスに寄与した一方で、インフレ懸念から債券市場が大幅に下落(利回りは上昇)したフィリピンの債券の保有はマイナスに作用しました。なお、当ファンドの償還に向けて、イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を全解約しました。

○アジアン・エクイティ

当作成期の投資行動としては、ポートフォリオの特性を大きく変更するような銘柄の入替は行いませんでした。国・地域別のパフォーマンスでは、地方選挙の開票結果が好感されて上昇したインド、IT企業の業績期待から株価が堅調に推移した韓国などの株式の保有がプラスに寄与しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

該当事項はありません。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドにつき一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ

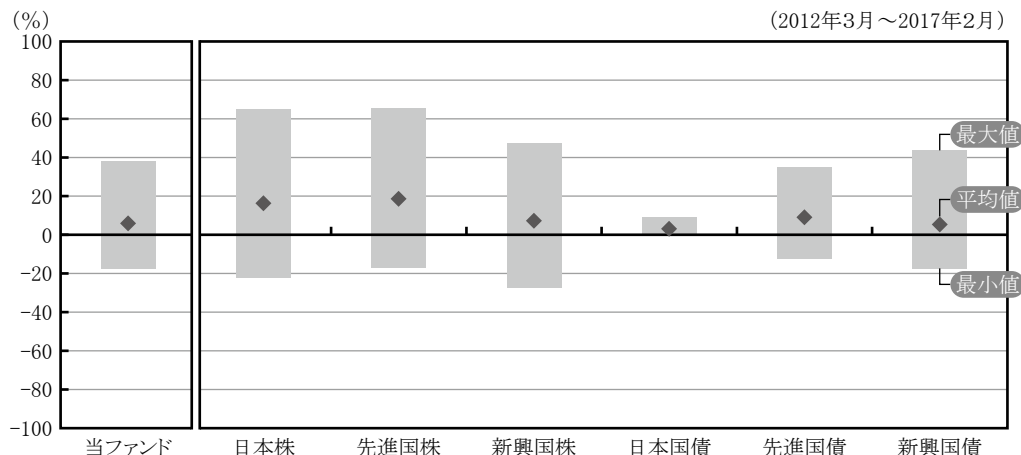
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	約10年間(2007年3月30日から2017年3月15日まで)
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド クラスJ」の投資証券(米ドル建て)およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)」の受益証券(振替受益権を含みません。)を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎決算時(毎月15日(休業日の場合は翌営業日))に、主に配当等収益から安定的に分配を行うことを目指します。また、売買益等がある場合は、これを付加して分配を行う場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	5.9	16.3	18.6	7.2	3.1	9.0	5.3
最大値	38.2	65.0	65.6	47.3	9.3	34.9	43.7
最小値	-17.4	-22.0	-17.1	-27.5	-0.2	-12.3	-17.4

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2012年3月から2017年2月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

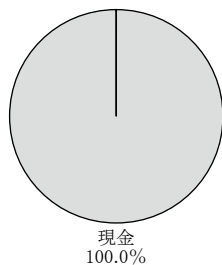
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

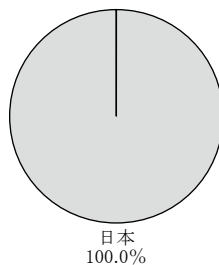
○組入ファンド

2017年3月15日現在、有価証券の組入れはございません。

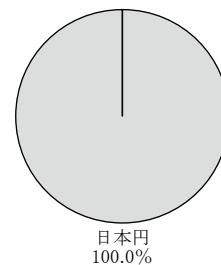
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	償還日 2017年3月15日
純資産総額	211,519,437円
受益権総口数	249,995,311口
1万口当たり償還価額	8,460円94銭

* 当作成期中(第119期)において追加設定元本額は103,778円、一部解約元本額は6,377,778円です。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- 東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPIは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
- シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。